

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年1月分:速報)

<対世界>

○輸出総額:9,483億円(伸率:+9.6%) ⇒ 2か月連続のプラス

・順位:22位、1月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(553か月、1月は47か月)による。以下同じ。】

・増加品目:自動車(同+31.2%)、船舶(同2.1倍)

○輸入総額:1兆566億円(伸率:+20.6%) ⇒ 6か月ぶりのプラス

・順位:7位、1月としては1位

・増加品目:原粗油(同+29.2%)、石油製品(同+54.7%)

○差引額:▲1,084億円(伸率:9.6倍) ⇒ 12か月ぶりの輸入超過

・順位:449位、1月としては35位

為替レート: 2025年1月:157.20円/ドル(2024年1月:143.95円/ドルと比べ9.2%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(2,090億円→2,743億円、伸率:+31.2%)は、アメリカ(530億円→725億円、同+36.6%)及びカナダ(96億円→208億円、同2.2倍)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

また、船舶(326億円→693億円、同2.1倍)は、バハマ(87億円→280億円、同3.2倍)及びシンガポール(実績なし→156億円)向けが増加し、2か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等製造装置(764億円→527億円、同▲31.0%)は、韓国(462億円→339億円、同▲26.5%)及び中国(190億円→98億円、同▲48.5%)向けが減少し、4か月ぶりのマイナスとなった。

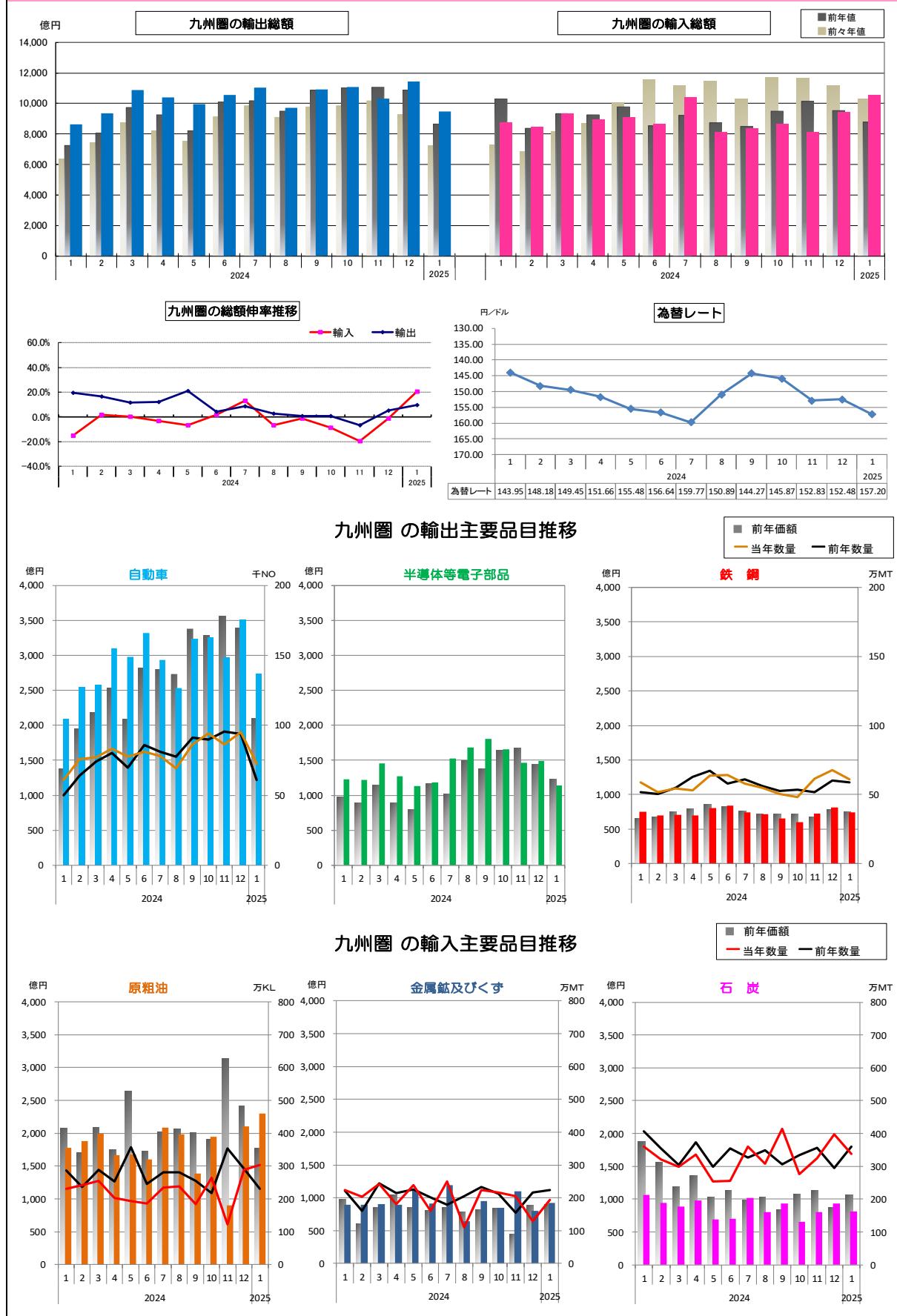
○輸入

原粗油(231万KL→304万KL、伸率:+31.3%、1,781億円→2,301億円、同+29.2%)は、サウジアラビア(135万KL→181万KL、同+34.1%、1,042億円→1,370億円、同+31.4%)及びクウェート(19万KL→44万KL、同2.3倍、143億円→338億円、同2.4倍)からが増加し、3か月ぶりのプラスとなった。

また、石油製品(375億円→579億円、同+54.7%)は、カタール(10億円→120億円、同12.3倍)及びクウェート(実績なし→108億円)からが増加し、5か月ぶりのプラスとなった。

一方、石炭(361万MT→339万MT、同▲6.1%、1,060億円→817億円、同▲22.9%)は、カナダ(52万MT→27万MT、同▲47.6%、196億円→82億円、同▲58.0%)及びアメリカ(31万MT→8万MT、同▲74.5%、120億円→26億円、同▲78.4%)からが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

令和7年1月分：速報



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。